

本 田 生 育 調 査

南加賀農林総合事務所
(5月18日現在)

1 生育調査

19.475	区	草 丈					㎡当たり茎数					株当たり茎数					葉 令					調査場所	移植日	栽植密度	
		本年	前年	前年比	平年	平年比	本年	前年	前年比	平年	平年比	本年	前年	前年比	平年	平年比	本年	前年	前年比	平年	平年比			株/㎡	株/坪
ゆめみづほ	1	25.48	18.46	138	17.74	144	79.50	64.16	124	71.83	111	4.32	4.15	104	4.15	104	4.35	4.60	95	4.73	92	川北町橋	5/2	18.4	60.8
平 均		25.50	18.50	138	17.70	144	79.50	64.20	124	71.80	111	4.30	4.20	104	4.10	104	4.40	4.60	95	4.70	94				
	3	24.85	19.42	128	20.11	124	79.79	63.08	126	71.73	111	5.25	4.15	127	4.23	124	4.96	4.60	108	4.60	108	能美市秋常町	5/7	15.2	50.2
	4	14.57	18.60	78	18.25	80	70.56	73.60	96	70.65	100	4.00	4.00	100	4.01	100	3.83	3.86	99	4.29	89	川北町下先出	5/8	17.6	58.2
	5	24.20	25.88	94			80.21	44.25	181	-	-	4.50	2.50	180	-	-	3.98	5.38	74	-	-	能美市大長野町		17.7	58.4
平 均		21.20	21.30	100	19.20	102	76.90	60.30	135	71.20	106	4.60	3.60	136	4.10	112	4.30	4.60	94	4.40	98				
ひやくまん穀	1	18.50	15.05	123	15.48	120	72.86	72.08	101	70.99	103	4.00	4.00	100	4.08	98	4.05	3.97	102	3.64	111	小松市白江町	5/7	18.2	60.1
平 均		18.50	15.10	123	15.50	120	72.90	72.10	101	71.00	103	4.00	4.00	100	4.10	98	4.10	4.00	102	3.60	111				

2 生育概要

- ・草丈は、ゆめみづほが平年より長く(平年比121%)、コシヒカリが平年並み(平年比98%)、ひやくまん穀は平年より長い(近年比120%)。
- ・㎡あたり茎数は、いずれの品種も平年並み(ゆめみづほ:平年比98%、コシヒカリ:平年比101%、ひやくまん穀:平年比101%)。
- ・活着は概ね良好であり、ゆめみづほ、コシヒカリでは分けつの発生を確認した。
- ・一部の圃場で田植時の強風・低温により、植傷み、葉先枯れの症状が散見されている。
- ・浅水管理に移行していないほ場では、藻やガスが発生しており、根の活力低下が懸念される。

3 病害虫発生状況

- ・イネミズゾウムシが発生し、食害がみられる。

4 今後の管理

- ・藻やガスの発生が見られる場合は、ただちに軽い田干しを行い、根の活力を向上させる。
- ・浅水管理(水深2~3cm)に努め、日中の入水は避け、地温の上昇を促し、初期分けつを確保する。
- ・過剰分けつ防止のため「中干し」は田植1か月後から遅れず実施しましょう。
- ・補植苗については、葉いもちの発生源となるので早急に処分する。